

## 平成30年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	地域ニーズに応じた社会科教材及び開発活用研修機会の提供
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 人文・社会教育学系 教授 浅倉有子 *共同実施者:志村喬ほか社会系教育実践コース所属全教員
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 新潟県社会科教育研究会 (担当者職名・氏名) 小松 敦 (上越市立八千浦小学校長)
4 事業の趣旨・目的	本事業は、上越地域の小中学校における社会科地域教材を大学教員の専門性を活かして提供するとともに、その開発と活用の研修機会を地域の社会科教育研究会とともに設定・提供することで、教員の社会科授業実践力を高め、地域の社会科授業をより良くすることを目的とした。
5 事業活動報告	<p>本事業は大学教員と地域の教員との協働による地域教材開発・活用の研究機会の提供であり、次の研究活動を遂行した。</p> <p>4月～5月：大学メンバーと社会科教育研究会の年間計画確認</p> <p>6月2日(日)：社会科教材開発研修会①の実施</p> <p>7月～10月：大学教員と社会科教育研究会教員の個別協働研究</p> <p>11月10日(日)：社会科教材開発研修会②の実施</p> <p>11月30日(金)：『新潟県社会科教育研究会「地方史研究シリーズ」復刻版Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』を復刻刊行し、地域の全中学校・図書館へ無料頒布</p>
6 本事業で得られた成果	<p>上記「5 事業活動報告」のように、大学教員と現場教員が年間にわたり協働研究・研修活動を行った。その結果、地域の社会科教材ニーズが明確となり、社会科歴史教材として有用でありながら入手が困難になっていた『新潟県社会科教育研究会「地方史研究シリーズ」』を、全3巻として編集公刊し、地域の全中学校と図書館へ配布した。同時に、研修会を開催した。このことにより、地域の社会科教育実践改善へ貢献することができた。また、本事業には大学教員に加え、大学院生や大学院出身者が参加し大学と地域の研究組織が協働した高度な教科教育実践者養成も図ることができた。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	<p>『新潟県社会科教育研究会「地方史研究シリーズ」復刻版Ⅰ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上杉謙信と春日山城 (1981),</li> <li>・高田開府と松平忠輝 (1975)</li> <li>・越後騒動と松平光長 (1976)</li> <li>・高田榊原藩治世史 (1977)</li> </ul> <p>『新潟県社会科教育研究会「地方史研究シリーズ」復刻版Ⅱ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近世の交通史 (1) (1982)</li> <li>・近世の交通史 (2) (1983)</li> <li>・近代の交通史 (1984)</li> </ul> <p>『新潟県社会科教育研究会「地方史研究シリーズ」復刻版Ⅲ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越地区における戊辰戦争と文明開化 (1978)</li> <li>・自由民権運動と高田事件 (1979)</li> <li>・軍都高田の成立とその変遷 (1980)</li> </ul> <p>*全て、上越教育大学 (社会系教育実践コース)・新潟県社会科教育研究会発行</p>